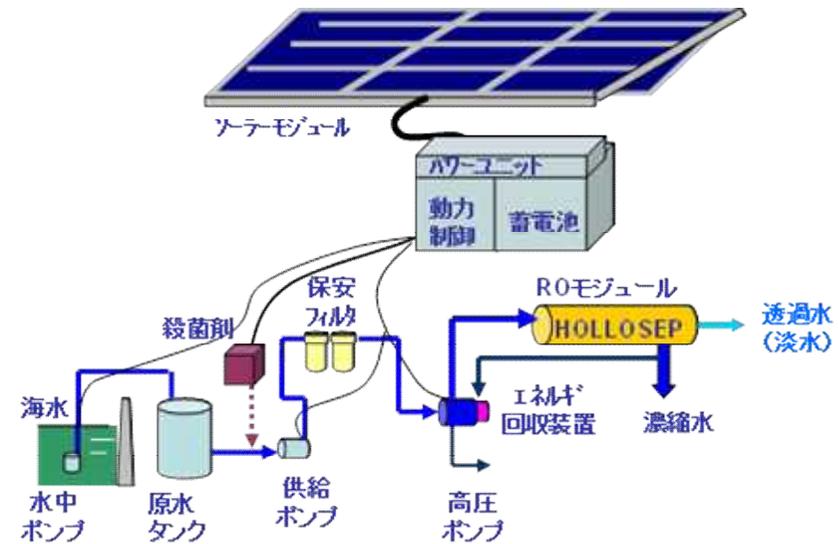


リノベーション・実証の概要

容易に運転管理及び安定運転できる中空糸逆浸透膜を使った海水淡水化装置を太陽光発電にて運転するシステムを開発、実証する。実証後、電力インフラのない島嶼地域及び沿岸地域へ生活用水(飲料水)供給のため展開を進め二酸化炭素排出量の抑制に貢献する。

タイにおける日照条件、海水水質、現地ニーズに合った低コスト化、システム維持管理の容易化の為にリノベーションを行う。実証機はデモ機 / プロモーション機と位置付け、バンコク近郊のパタヤ付近沿岸部に設置し実証後はプレゼンに活用する。



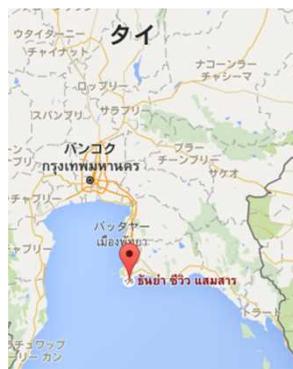
システムの概略フロー

対象とする国・地域の概要

対象国であるタイに止まらず周辺島嶼国は電力インフラが整っていない離島が多い。

現状は雨水や陸地からの輸送等で生活用水を確保しており、常に水不足の状態にある。

生活用水を安全な水質で自給可能な海水淡水化システムが望まれている。



地図データ©2016 Google

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

事業化見込み

- STEP1: 実証機設置後、安定運転の技術確立検討と並行してマーケティングを開始する。
- STEP2: 補助金事業終了後、実証機は運転しながらデモ機及びプロモーション機として活用、タイ離島へ導入展開する。
- STEP3: 周辺諸国へ水平展開をはかる。

普及の見込み(目標)

- 2020年まで 小型システムを累計10基導入
- 2030年まで 累計50基導入